

漁港は魚の保育園



漁港漁場月報のバックナンバーは左のQRコードから読むことができます

漁港漁場月報

令和7年9月15日発行
毎月1回15日発行
公益社団法人 全国漁港漁場協会
発行人 田中 郁也
東京都千代田区神田鍛冶町3-6-7
ウピン神田ビル2階
電話 東京(6206)0066
ホームページ http://www.gyokou.or.jp/
定価 1部 70円 (会員の購読料は会費の中に含む)

水産基盤整備事業<公共>

令和8年度予算概算要求額 86,467百万円 (前年度 73,091百万円)

<対策のポイント>

国民に安くて高品質な水産物を安定的に供給し、輸出拡大等による水産業の成長産業化を実現していくため、拠点漁港等における流通機能強化と養殖拠点の整備を推進します。併せて、持続可能な漁業生産を確保するため、海洋環境の変動に伴う魚種変化等に対応した漁場整備や藻場・干潟の保全・創造、漁港施設の耐震・耐津波・耐浪化及び長寿命化対策を推進します。さらに、漁村の活性化や漁港の利用促進のため、就労環境改善対策や漁村インフラの整備等を推進します。

<事業目標>

- 水産物の流通拠点となる漁港において、総合的な衛生管理体制の下で取り扱われる水産物の取扱量の割合を増加(70%〔令和8年度まで〕)
流通・防災の拠点となる漁港のうち、地震・津波に対する主要施設の安全性が確保された漁港の割合を増加(60%〔令和8年度まで〕)

<事業の内容>

水産業の成長産業化に向けた拠点整備
1. 水産業の成長産業化に向けた拠点機能強化対策
2. 持続可能な漁業生産を確保するための漁場生産力の強化対策、漁港施設の適宜化対策
3. 漁村の活性化と漁港利用促進のための環境整備

令和8年度 水産基盤整備 事業概算要求

18.3%増 865億円

水産庁は、令和8年度水産予算概算要求の概要を公表した。水産関係予算は、海洋環境の激変に負けない強い漁業と豊かで魅力ある浜づくりの表現に向けてとすべき必要な額を取りまとめたもので、前年度当り魚種変化等に対応した

水産庁関係予算は、次の通りである。水産関係係数算は、次の通りである。水産関係係数算は、次の通りである。水産関係係数算は、次の通りである。

環境激変に適応するための大胆な変革の推進
一、水産業の成長産業化
二、持続可能な漁業生産
三、豊かで魅力ある浜づくり
四、増大するリスクも踏まえた水産業の成長産業化の実現
五、水産基盤の整備、漁業地域の国土強靭化
六、東日本大震災からの復興まっしぐら、産業・漁業(なりわい)の再生
水産基盤整備事業(公共)については、漁港関係長期計画(令和4年度)令和8年度、令和4年3月閣議決定に基づき、次の三つの対策を重点的に推進する。

令和8年度 漁港漁場漁村関係 予算概算要求について



中村 郁也 大臣

水産基盤整備事業(公共)として864億6700万円、対前年比118.3%を要求しています。『第1次国土強靭化実施中期計画』に係る経費及び『総合的なP.P.等関連政策大綱』を踏まえた農林水産分野については、予算編成過程で検討されることとなっている。

水産庁関係係数算は、次の通りである。水産関係係数算は、次の通りである。水産関係係数算は、次の通りである。水産関係係数算は、次の通りである。

環境激変に適応するための大胆な変革の推進
一、水産業の成長産業化
二、持続可能な漁業生産
三、豊かで魅力ある浜づくり
四、増大するリスクも踏まえた水産業の成長産業化の実現
五、水産基盤の整備、漁業地域の国土強靭化
六、東日本大震災からの復興まっしぐら、産業・漁業(なりわい)の再生
水産基盤整備事業(公共)については、漁港関係長期計画(令和4年度)令和8年度、令和4年3月閣議決定に基づき、次の三つの対策を重点的に推進する。

令和8年度水産基盤整備事業概算要求の内訳

(金額単位:百万円)

事 項	令和7年度 予算額	令和8年度概算要求額	
		一般会計	
		要求・要望額	対前年比
水産基盤整備事業	73,091	86,467	118.3%
直轄特定漁港漁場整備事業	17,028	20,192	118.6%
うちフロンティア漁場整備事業	1,470	1,739	118.3%
うち直轄漁港整備事業	15,558	18,453	118.6%
水産物供給基盤整備	30,156	36,054	119.6%
水産流通基盤整備事業	11,616	13,856	119.3%
水産物供給基盤機能保全事業	14,430	17,309	120.0%
漁港施設機能強化事業	4,110	4,889	119.0%
水産資源環境整備	21,891	26,084	119.2%
水産環境整備事業	12,321	14,762	119.8%
水産生産基盤整備事業	9,570	11,322	118.3%
漁村総合整備	1,417	1,558	110.0%
水産基盤整備調査(直轄・補助)	516	516	100.0%
作業船整備費	13	13	100.0%
後進地域補助率差額	2,070	2,050	99.0%

※計数は、四捨五入によっているため、端数においては合計とは一致しない場合がある。

令和8年度概算要求 拡充要求事項

拡充① 漁港水域を活用した 養殖生産拠点の形成

< 拡充の内容 >

- 「養殖業成長産業化推進基盤整備事業」において、「漁港養殖拠点形成対策」を設け、漁港水域を活用した養殖業の展開に必要な対策をパッケージで支援する。
なお、採択要件は年間養殖生産量300トン又は年間養殖生産高1.5億円以上等とする。
- 事業主体: 都道府県、市町村、水産業協同組合
- 補助率: 既存事業と同様(1/2等)

拡充③ 海洋環境の変化に対応した藻場造成を基幹とした漁場生産力の強化

< 拡充の内容 >

- 種苗生産施設の整備を可能とする事業に、「水産資源を育む水産環境保全・創造事業」における「環境変動対策」を追加。
- 実施主体: 都道府県、市町村、水産業協同組合
- 補助率: 既存事業と同様(1/2等)

拡充② 持続的な漁港機能の確保に向けた 一元的な土砂処分の推進

< 拡充の内容 >

- 「水産物供給基盤機能保全事業」において、同一の都道府県内の複数漁港で発生する土砂を一元的に受け入れる処分地の整備についても補助対象化する。
なお、本事業の要件は以下のとおり。
- ① 水産基盤整備事業により浚渫工事を行う漁港から発生する土砂を受け入れるものであること。
- ② 関係する地方公共団体において、共同で土砂処分を行うための計画(協定書を含む。)を作成し、投入土量や費用負担等について合意を得たものであること。
- 事業主体: 都道府県
- 補助率: 既存事業と同様(1/2等)

拡充④ 沖合の漁場生産力を高める マウンド礁の機能強化

< 拡充の内容 >

- 既設マウンド礁を改良(延伸等)する場合の採択要件を魚礁及び増殖場と同様に取り扱う。(下限額:3億円超)
- 実施主体: 都道府県、市町村、水産業協同組合
- 補助率: 既存事業と同様(1/2等)

海業振興支援事業

令和8年度予算概算要求額 800百万円 (前年度 275百万円)

< 対策のポイント >

地域の所得向上と雇用機会の確保に向けて、漁港施設等活用事業の活用を促進するため、民間事業者、漁港管理者、漁業協同組合等のマッチングシステムや中間支援組織などの連携の仕組みや体制づくり、モデル地区における実証、漁業者等が海業に一步を踏み出すための調査、効果分析、取組の実証等を支援し、海業の全国展開を加速化します。

< 事業目標 >

当該事業の実施地区における、地域の漁業者等の海業による所得の向上及び水産物の消費増進の達成

< 事業の内容 >

1. 海業立ち上げ推進事業

① 海業推進調査事業

海業関係者間の連携強化を図り、活用推進計画や実施計画の策定を推進していくため、民間事業者、漁港管理者、漁業協同組合等と結びつけるためのマッチングシステムや中間支援組織などの連携の仕組みや体制づくり等を実施します。

② 海業立ち上げ支援事業

海業の全国展開にあたり、活用推進計画策定を目指すモデル地区において、国の施策として率先して取り組むべきテーマ(インバウンド対応、こども体験活動、魚について総合的に学ぶ「ぎょ」の拡大、港湾を含めた海業の展開、複数の市町村・漁協等による広域連携の取組等)に対して、活用推進計画の策定に必要な調査、効果分析、取組の実証等の民間事業者が行うモデルづくりを支援します。

2. 海業取組促進事業

地域において漁業者等が海業への一步を踏みだし、実施計画策定を目指すため、漁業共同組合等の海業取組に係る実施計画の策定に必要な調査、効果分析、取組の実証等を支援します。

< 事業の流れ >



< 事業イメージ >



【お問い合わせ先】 水産庁計画・海業政策課 (03-3506-7897)

令和8年度漁港海岸事業関連予算概算要求の概要

概算要求額	4,234百万円
漁港海岸事業	(対前年度比 1.160)

事項	令和7年度当初予算額(A)	令和8年度概算要求額(B)	対前年度比(B/A)
海岸事業	3,650	4,234	1.160
海岸保全施設整備事業	3,370	4,022	1.193
海岸事業調査費(直轄) ※調査諸費を含む	14	14	1.000
後進地域補助率差額等	266	198	0.744

(注1) 計数は、四捨五入のため、端数において合計とは一致しない場合がある。
 (注2) このほか「第1次国土強靱化実施中期計画」に基づき取組の推進及び近年の資材価格の高騰の影響等を考慮した公共事業等の実施に必要な経費を事項要求する。
 ※農山漁村地域整備交付金として、884.5億円の内数があり、地方の要望に応じて海岸保全施設の整備に充てることができる。

令和8年度災害復旧事業予算概算要求の概要

概算要求額	1,040百万円
災害復旧事業	(対前年度比 1.000)

事項	令和7年度当初予算額(A)	令和8年度概算要求額(B)	対前年度比(B/A)
災害復旧事業	1,040	1,040	1.000
漁港施設災害復旧事業	956	979	1.024
漁港施設災害関連事業	84	61	0.726

(注1) 計数は、四捨五入のため、端数において合計とは一致しない場合がある。



第50回 中・四国漁港漁場団体協議会 岡山県岡山市で開催

第50回中・四国漁港漁場団体協議会が、8月20日午後3時30分から岡山県岡山市の「サン・ピー」において開催され、鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県、徳島県、香川県、愛媛県、高知県の9協会の代表者等が参加し、冒頭、当協会の石飛理事が、令和8年度予算の概算要求について、続いて、他の協会の代表者等が、それぞれ、令和8年度予算の概算要求について、意見を述べた。

村耕太水産庁漁港漁場整備部防災課長、森田正博(公社)全国漁港漁場協会常務理事、清水浩史岡山県農林水産部長が、それぞれ、令和8年度予算の概算要求について、意見を述べた。また、岡山県農林水産部長が、令和8年度予算の概算要求について、意見を述べた。

岡山県農林水産部長が、令和8年度予算の概算要求について、意見を述べた。また、岡山県農林水産部長が、令和8年度予算の概算要求について、意見を述べた。

岡山県農林水産部長が、令和8年度予算の概算要求について、意見を述べた。また、岡山県農林水産部長が、令和8年度予算の概算要求について、意見を述べた。

岡山県農林水産部長が、令和8年度予算の概算要求について、意見を述べた。また、岡山県農林水産部長が、令和8年度予算の概算要求について、意見を述べた。

岡山県農林水産部長が、令和8年度予算の概算要求について、意見を述べた。また、岡山県農林水産部長が、令和8年度予算の概算要求について、意見を述べた。

岡山県農林水産部長が、令和8年度予算の概算要求について、意見を述べた。また、岡山県農林水産部長が、令和8年度予算の概算要求について、意見を述べた。

岡山県農林水産部長が、令和8年度予算の概算要求について、意見を述べた。また、岡山県農林水産部長が、令和8年度予算の概算要求について、意見を述べた。

岡山県農林水産部長が、令和8年度予算の概算要求について、意見を述べた。また、岡山県農林水産部長が、令和8年度予算の概算要求について、意見を述べた。

漁港漁場漁村整備促進議員連盟が臨時総会 令和8年度予算概算要求等を協議

漁港漁場漁村整備促進議員連盟が、8月28日(木)10時から自由民主党本部会議室で臨時総会を開催した。総会では、議員連盟の代表者等が、令和8年度予算の概算要求について、意見を述べた。また、議員連盟の代表者等が、令和8年度予算の概算要求について、意見を述べた。

令和7年度通常総会を開催 佐賀県漁港漁場協会

佐賀県漁港漁場協会が、8月25日(木)に佐賀市の「ホテルクラウン」において、令和7年度通常総会を開催した。総会では、協会の代表者等が、令和7年度事業の報告と、令和8年度事業の概算要求について、意見を述べた。

漁港漁場漁村海岸写真コンクール審査委員会を開催

漁港漁場漁村海岸写真コンクール審査委員会が、9月5日(金)10時30分から(公社)全国漁港漁場協会及び全国漁港漁場防犯協会主催で開催された。審査委員は、9月5日(金)10時30分から(公社)全国漁港漁場協会及び全国漁港漁場防犯協会主催で開催された。



全国特定第三種漁港市長協議会 第31回通常総会を開催

全国特定第三種漁港市長協議会（会長・鈴木俊一）は、8月18日（水）午後3時から静岡県焼津市ホテルアピア松風閣で開会した。また、翌7日（木）には特定第三種漁港である焼津漁港等を視察した。

冒頭、会長の中野弘道焼津市長が開催地代表を兼ねて挨拶、中村隆水産庁漁港整備部長、田中郁也（公社）全国漁港漁場協会会長、高梨記成静岡県交通基盤部長が来賓挨拶した。

第1号議案「令和6年度事業報告・収支決算について」では、令和6年度は30周年記念行事を実施したと、第2号議案「令和7年度事業計画案（案）」について、中野市長が説明をし、監事の田中祝成氏、中野市長が監査報告を行い、中野市長が第2号議案と第3号議案「第32回通常総会開催場所について」を承認された。

第3号議案「第32回通常総会開催場所について」では、次期通常総会を気仙沼市において開催する提案があり承認された。



挨拶する中村水産庁漁港整備部長

和7年度事業計画案（案）収支予算案については、では事務局が説明をし、監事の田中祝成氏、中野市長が監査報告を行い、中野市長が第2号議案と第3号議案「第32回通常総会開催場所について」を承認された。

第3号議案「第32回通常総会開催場所について」では、次期通常総会を気仙沼市において開催する提案があり承認された。

第4号議案「規約の変更について（協議会名称の変更）」では、組織名を「全国漁港漁場協会」とし、事務局が説明し、原案のとおり承認された。

その他、全国水産都市三団体連絡協議会に関する報告事項として、7月18日に商工会館にて開催された総会終了後に久保俊幸同協会長他数人から、庄子農水産大臣に、水産庁幹部、財務省に対して要望書を手渡し要望活動を行ったこと、市長からは中野弘道焼津市長が参加したことについて報告があった。令和8年度の会長に

「漁港検診」を実施 岩手県漁港漁村協会



今年度の漁港検診は、東日本大震災からの復興や令和6年の冬季風浪による災害からの復旧等状況のほか、現在の整備状況、今後の整備計画や地元要望の調査として12市町村21地区の26漁港において実施した。

現場では、被災の災害復旧状況及び水産整備の状況と今後の漁港等整備の見通しについて県、市町村担当者から説明

（社）岩手県漁港漁村協会（会長・鈴木俊一）は、8月18日から20日の三日間、18港検診を実施した。鈴木俊一会長や山崎義広県漁連会長が県下の漁港、漁場及び漁村整備を行っていると、県、市町村の下で、県、市町村の担当者から事業内容、課題

18日に商工会館にて開催された総会終了後に久保俊幸同協会長他数人から、庄子農水産大臣に、水産庁幹部、財務省に対して要望書を手渡し要望活動を行ったこと、市長からは中野弘道焼津市長が参加したことについて報告があった。令和8年度の会長に

「令和7年度通常総会常総会を開催」

神奈川県水産振興促進協会（会長・高橋征人）が「最近の水産関係の話題として、長期間にわたって続いた黒潮大蛇行が終息の兆しを見せている」との報告があった。県内水産不振の原因として、水産関係者からの

令和7年度通常総会常総会を開催

神奈川県水産振興促進協会（会長・高橋征人）が「最近の水産関係の話題として、長期間にわたって続いた黒潮大蛇行が終息の兆しを見せている」との報告があった。県内水産不振の原因として、水産関係者からの

令和7年度通常総会常総会を開催

神奈川県水産振興促進協会（会長・高橋征人）が「最近の水産関係の話題として、長期間にわたって続いた黒潮大蛇行が終息の兆しを見せている」との報告があった。県内水産不振の原因として、水産関係者からの

令和7年度通常総会常総会を開催

神奈川県水産振興促進協会（会長・高橋征人）が「最近の水産関係の話題として、長期間にわたって続いた黒潮大蛇行が終息の兆しを見せている」との報告があった。県内水産不振の原因として、水産関係者からの

議事の終了後、水産庁の中村隆部長が「漁港漁場漁村に係る取り組み」と題して講演を行った。

出席者は市長本人出席9名、気仙沼市、塩竈市、銚子市、三浦市、焼津市、境港市、浜田市、下関市、札幌市、福岡市、長崎市、戸市、福岡市、長崎市、議長委任（名石巻市）。

「令和7年度通常総会常総会を開催」

神奈川県水産振興促進協会（会長・高橋征人）が「最近の水産関係の話題として、長期間にわたって続いた黒潮大蛇行が終息の兆しを見せている」との報告があった。県内水産不振の原因として、水産関係者からの

「令和7年度通常総会常総会を開催」

神奈川県水産振興促進協会（会長・高橋征人）が「最近の水産関係の話題として、長期間にわたって続いた黒潮大蛇行が終息の兆しを見せている」との報告があった。県内水産不振の原因として、水産関係者からの

「令和7年度通常総会常総会を開催」

神奈川県水産振興促進協会（会長・高橋征人）が「最近の水産関係の話題として、長期間にわたって続いた黒潮大蛇行が終息の兆しを見せている」との報告があった。県内水産不振の原因として、水産関係者からの

（務）が議長に選出され、中村隆部長が「漁港漁場漁村に係る取り組み」と題して講演を行った。

「令和7年度通常総会常総会を開催」

神奈川県水産振興促進協会（会長・高橋征人）が「最近の水産関係の話題として、長期間にわたって続いた黒潮大蛇行が終息の兆しを見せている」との報告があった。県内水産不振の原因として、水産関係者からの

「令和7年度通常総会常総会を開催」

神奈川県水産振興促進協会（会長・高橋征人）が「最近の水産関係の話題として、長期間にわたって続いた黒潮大蛇行が終息の兆しを見せている」との報告があった。県内水産不振の原因として、水産関係者からの

「令和7年度通常総会常総会を開催」

神奈川県水産振興促進協会（会長・高橋征人）が「最近の水産関係の話題として、長期間にわたって続いた黒潮大蛇行が終息の兆しを見せている」との報告があった。県内水産不振の原因として、水産関係者からの

第74回通常総会・第65回兵庫 庫県漁港漁場大会を開催

兵庫県の漁業関係者ら約130名が参加して開催された。

田中郁也（公社）全国漁港漁場協会会長、代議士 吉竹正明総務部長の挨拶の後、清水邦、姫路市水産課長が議長に、川口雄也沼島漁業協同組合組合長が副議長に選出され、「潤いと活力ある漁港・漁場・漁村」に選出され、次の議案を満場一致で承認した。

漁港漁場整備長期計画の確保

・漁港漁場整備の促進と令和8年度予算の確保

・豊かな海の再生

・県の漁港漁場整備等に

兵庫県の漁業関係者ら約130名が参加して開催された。

田中郁也（公社）全国漁港漁場協会会長、代議士 吉竹正明総務部長の挨拶の後、清水邦、姫路市水産課長が議長に、川口雄也沼島漁業協同組合組合長が副議長に選出され、「潤いと活力ある漁港・漁場・漁村」に選出され、次の議案を満場一致で承認した。

漁港漁場整備長期計画の確保

・漁港漁場整備の促進と令和8年度予算の確保

・豊かな海の再生

・県の漁港漁場整備等に

「令和7年度通常総会常総会を開催」

神奈川県水産振興促進協会（会長・高橋征人）が「最近の水産関係の話題として、長期間にわたって続いた黒潮大蛇行が終息の兆しを見せている」との報告があった。県内水産不振の原因として、水産関係者からの

「令和7年度通常総会常総会を開催」

神奈川県水産振興促進協会（会長・高橋征人）が「最近の水産関係の話題として、長期間にわたって続いた黒潮大蛇行が終息の兆しを見せている」との報告があった。県内水産不振の原因として、水産関係者からの

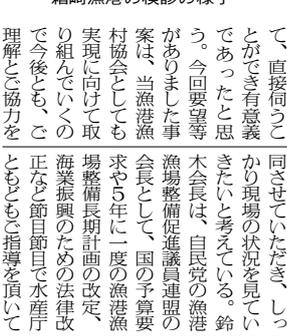
代表理事会長と守本憲弘南あわじ市長が選任され、引き続き同会場において、第65回兵庫県漁港漁場大会が、県下各地から130名の参加を得て開催された。

代表理事会長と守本憲弘南あわじ市長が選任され、引き続き同会場において、第65回兵庫県漁港漁場大会が、県下各地から130名の参加を得て開催された。

代表理事会長と守本憲弘南あわじ市長が選任され、引き続き同会場において、第65回兵庫県漁港漁場大会が、県下各地から130名の参加を得て開催された。

代表理事会長と守本憲弘南あわじ市長が選任され、引き続き同会場において、第65回兵庫県漁港漁場大会が、県下各地から130名の参加を得て開催された。

箱崎漁港の検診の様子



神奈川県協会の総会の様子

水産庁人事異動

九月一日付

事業整備推進専門職（事業整備推進専門職、農産局長業務課長）岩村尚俊（国土交通省北海道開発局）

岩手県漁港漁場整備計画課長（事業課漁港漁場専門官）安永健太